

特集

最新の画像診断法とその応用 ～機器メーカーによる最新情報～

Current technologies in diagnostic imaging modalities :
Provided by health care companies

特集を企画するにあたって

河野 達夫

東京都立小児総合医療センター 放射線科

Tatsuo Kono

Department of Radiology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center

近年の画像診断法の発達はめざましいものがあり、我々画像診断医にとって最新の技術や知識を常に最新のものに保つには多大な努力が必要とされます。また画像診断に限らず全ての領域において、最新の技術は成人にまず適用され、小児への応用は後手になることがほとんどです。さらに小児画像診断医の多くは小児病院に在籍しており、大学などと比較すると最新の機器を扱ったり、最新の情報に常に触れることは難しい状況にあります。

そこで今回は、種々の画像診断領域における現時点での最新の技術を紹介する特集を企画しました。従来の特集では、先進的に携わっている画像診断医に執筆をお願いするのが一般的でした。しかし前述の理由で、最新の情報を常に把握している小児画像診断医は決して多くありません。その

ため、真の意味での「最新」の情報を得るために、今回は画像診断機器を扱うメーカーに執筆をお願いしました。

各メーカーともいろいろな特色を有していますが、今回は診断モダリティごと、それぞれ得意分野と思われるメーカーに執筆をお願いしました。ただし執筆メーカーの選定は、各社の希望を尋ねた上で、配分と公平性を考慮して編集委員会で決めましたので、執筆分野の技術が優れているメーカーの推薦ではないことをご留意下さい。

執筆にあたり、最新技術の小児への応用という点に重点を置いていただくよう、各執筆者にはお願いしました。成人で応用されている技術を、今後の小児画像診断分野に応用する参考にしていただければ幸いです。